

活を最高にして、ただ神のみ摂理の前に信頼を持って生き、短かく尊い生涯を全うされました。ルルドは全ヨーロッパ最大の巡礼地です。クリプト聖堂の上に無原罪の御宿りの聖マリア聖堂が建立され、洞窟周辺には六つの大きな教会があります。その中でもピオ十世教会は二万五千人収容できる巨大地下聖堂（ノアの箱舟の形）があり、インターナショナルミサが行われていました。山の上に広がる大きな十字架の道行き、不思議な奇跡の水での沐浴、周辺の病院、ホスピタル、博物館、どこも終日、ミサに与かる人や祈る人で一杯でした。復活祭後より十月末まで毎日ローソク行列が行われており、私も心一つにして、世界各国の言葉を歌いながら参加いたしました。ローソクを手を持って洞窟より広場、大聖堂までの行列は一時間余り、言い尽くせぬ感動を覚え、黙想するところが一杯あり、しばらくはルルドに留まる事が出来たらと、後ろ髪を引かれる思いでルルドを後にしました。巡礼中、同行して下さった神父様に毎日ミサを授けていただき、またルルド

ドで主人のために追悼ミサもしていただき、涙が止まりませんでした。神の慈しみに心満たされ、ご加護のもと、全員無事、帰国できたことを、主に感謝と賛美を捧げます。

芸術 浅野さんがグループ展で油絵を



昨年の12月6日から11日まで、市民ギャラリー一矢田で開催された葵テニスクラブ作品展に浅野正士さんが油絵を出品されました。浅野さんは大手印刷会社を定年退職された記念に、趣味で始められた絵でカレンダーを作られ、その表紙に描かれた民族衣装の女性像が私の印象に強く残っていた。今回も、真っ赤なドレスの女性像は色彩が鮮やかで、嫌味のない華やかさが個性となっているように思えた。長年の職業から身につけられた色彩感覚なのだろうか。スケッチ画も趣があり、デザイン力の確かさも伺える作品ばかりであった。今後はテーマによる連作も期待したい。

【後藤 明憲】